

令和4年4月15日

道路局高速道路課

高速道路の休憩施設の不足解消に向けた社会実験について

我が国の高速道路においては、休憩施設同士の間隔が概ね25km以上離れている空白区間が約100区間存在しています。この空白区間を半減することを目指し、現在全国23箇所の道の駅を対象に、高速道路からの一時退出を可能とする社会実験を実施しております。今回、新たに道の駅6箇所を追加するとともに、既存の社会実験箇所を含め、令和4年7月1日(金)0時より一時退出可能時間を3時間から2時間に変更し、引き続き検証を進めます。

<実験概要>

1. 目的: 休憩施設等の不足を解消し、良好な運転環境を実現すること。
2. 内容: 休憩施設間隔が概ね25km以上、ICからの距離が2km以内の道の駅で、ETC2.0搭載車を対象に、高速道路を降りて道の駅に立ち寄り後、2時間以内に再進入した場合※1には、降りずに利用した料金のままとする(ターミナルチャージ※2の再徴収をせず、長距離逓減※3等も継続)

※1 順方向に向かう場合のみ

※2 利用1回当たりの料金(高速自動車国道のみ)

※3 一定距離以上を連続して利用した場合の料金割引措置

3. 追加箇所: 全国6箇所の道の駅(別添資料参照)

- ・道の駅「ふくしま」(福島県福島市)
- ・道の駅「常総(仮称)」(茨城県常総市)
- ・道の駅「おけがわ(仮称)」(埼玉県桶川市)
- ・道の駅「ながおか花火館」(新潟県長岡市)
- ・道の駅「いたの」(徳島県板野郡)
- ・道の駅「都城」(宮崎県都城市)

※ 各箇所における実験開始時期については改めてお知らせします。

※ 6箇所については、実験開始時から一時退出可能時間は2時間となります。

4. 退出時間の見直し: 令和4年7月1日(金)0時より一時退出可能時間を現状の3時間から2時間に変更
追加6箇所を含む、全国29箇所の道の駅が対象

※4 実験対象ICを0時以降に流出した車両が対象

・参考資料① : 現在実験中の道の駅23箇所における実施状況

・参考資料② : 今回新たに追加する道の駅6箇所の概要

(参考) ETC2.0については、(一財)ITSサービス高度化機構「ETC総合情報ポータルサイト」をご参照ください。(http://www.go-etc.jp/etc2/etc2/use.html)

問い合わせ先:

○一時退出全般に関すること

国土交通省 道路局高速道路課 課長補佐 御器谷 昭央(内線:38362)

(代表) TEL 03-5253-8111 (課直通) TEL 03-5253-8500、FAX 03-5253-1619

○ETC2.0に関すること

国土交通省 道路局道路交通管理課 ITS推進室 課長補佐 田胡 匡基(内線:37462)

(代表) TEL 03-5253-8111 (課直通) TEL 03-5253-8484、FAX 03-5253-1617

社会実験の対象となる道の駅について

別添資料

○ 高速道路の休憩施設間が概ね25km以上、かつICから2km以内の道の駅において、休憩施設の不足解消を目的に、新たに6箇所を追加

■今回追加する道の駅(6箇所)

駅名	道の駅所在地	最寄り道路・IC名
ふくしま	福島県福島市	E13 東北中央道・福島大笹生IC
常総(仮称)	茨城県常総市	C4 圏央道・常総IC
おけがわ(仮称)	埼玉県桶川市	C4 圏央道・桶川北本IC
ながおか花火館	新潟県長岡市	E17 関越道・長岡IC
いたの	徳島県板野郡板野町	E11 高松道・板野IC
都城	宮崎県都城市	E10 宮崎道・都城IC

※ 常総(仮称)、おけがわ(仮称)については、道の駅に登録されることを前提として追加。

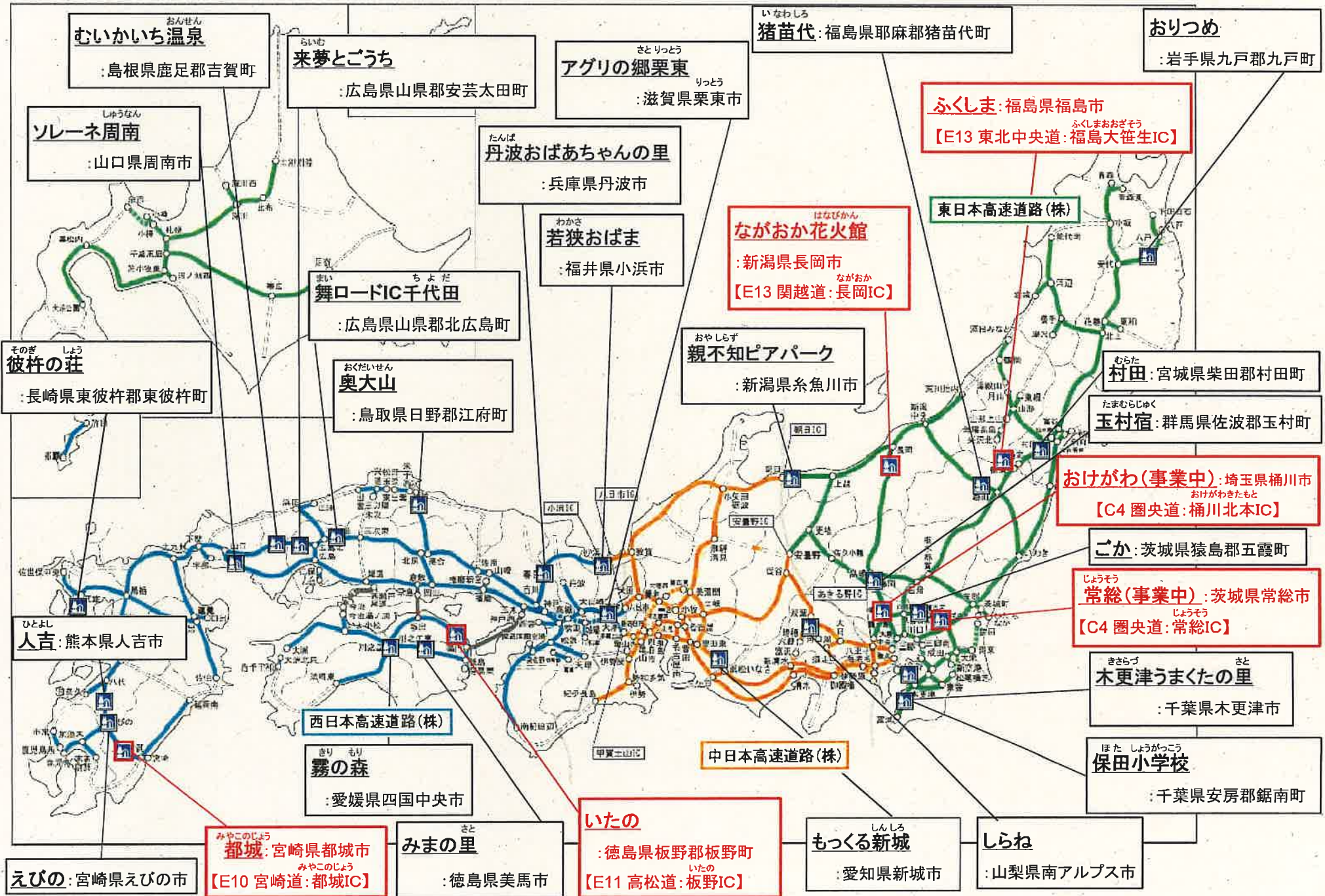
[参考]現在実験中の道の駅(23箇所)

駅名	道の駅所在地	最寄り道路・IC名
おりつめ	岩手県九戸郡九戸村	E4A 八戸線・九戸IC
村田	宮城県柴田郡村田町	E4 東北道・村田IC
猪苗代	福島県耶麻郡猪苗代町	E49 磐越道・猪苗代磐梯高原IC
ごか	茨城県猿島郡五霞町	C4 圏央道・五霞IC
玉村宿	群馬県佐波郡玉村町	E17 関越道・高崎玉村スマートIC
木更津うまくだの里	千葉県木更津市	C4 圏央道・木更津東IC
保田小学校	千葉県安房郡鋸南町	E14 富津館山道・鋸南保田IC
しらね	山梨県南アルプス市	E52 中部横断道・白根IC
親不知ピアパーク	新潟県糸魚川市	E8 北陸道・親不知IC
もっくる新城	愛知県新城市	E1A 新東名・新城IC
若狭おばま	福井県おばま	E27 舞鶴若狭道・小浜IC
アグリ郷栗東	滋賀県栗東市	E1 名神高速・栗東IC
丹波おばあちゃんの里	兵庫県丹波市	E27 舞鶴若狭道・春日IC
奥大山	鳥取県日野郡江府町	E73 米子道・江府IC
舞ロードIC千代田	広島県山県郡北広島町	E2A 中国道・千代田IC
来夢とごうち	広島県山県郡安芸太田町	E2A 中国道・戸河内IC
むいかいち温泉	島根県鹿足郡吉賀町	E2A 中国道・六日市IC
ソレーネ周南	山口県周南市	E2 山陽道・徳山西IC
霧の森	愛媛県四国中央市	E32 高知道・新宮IC
みまの里	徳島県美馬市	E32 徳島道・美馬IC
人吉	熊本県人吉市	E3 九州道・人吉球磨スマートIC
彼杵の荘	長崎県東彼杵郡東彼杵町	E34 長崎道・東そのぎIC
えびの	宮崎県えびの市	E3 九州道・えびのIC

社会実験対象の道の駅

□ : 現在実験中の道の駅

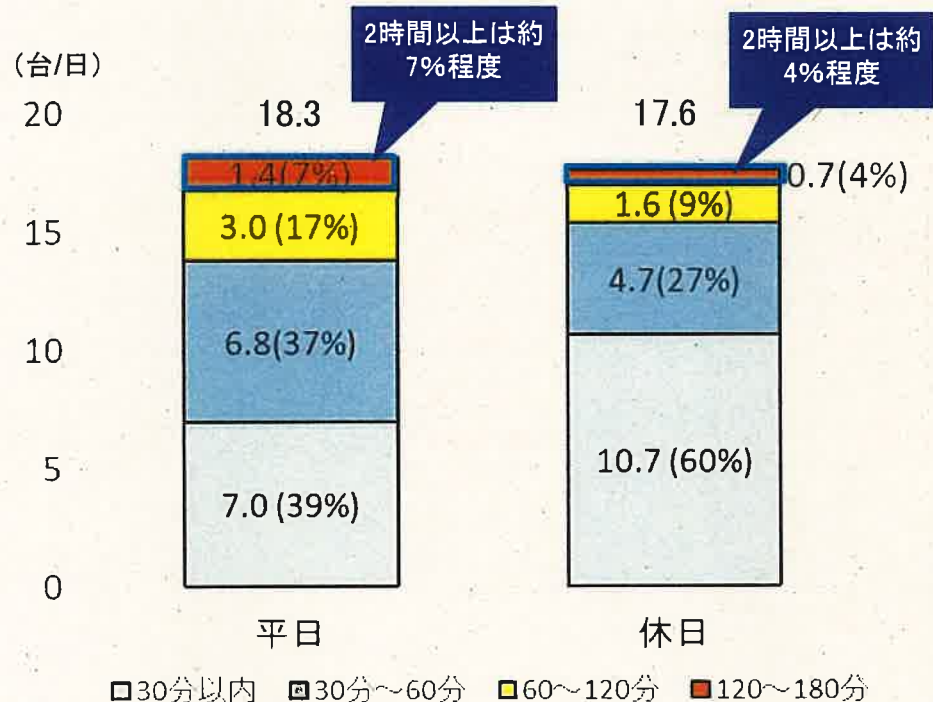
□ : 今回新たに追加する道の駅



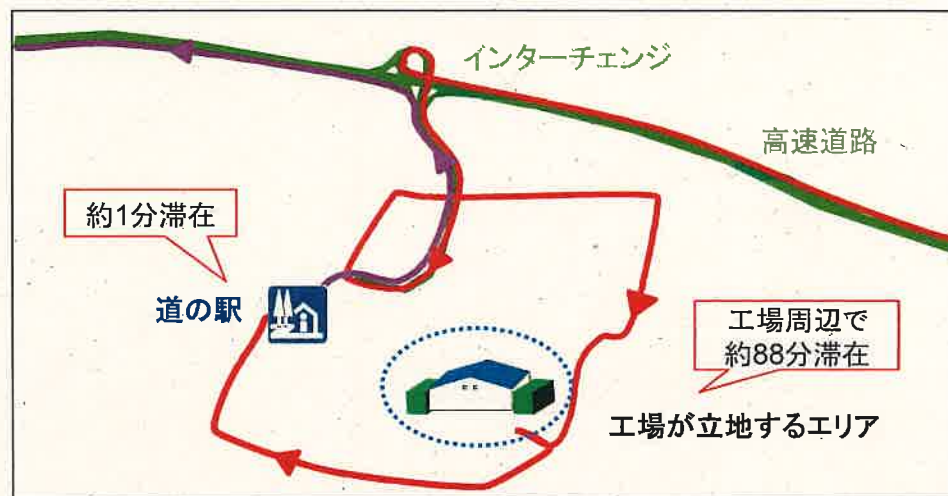
一時退出可能時間の変更について(3時間→2時間)

○ 2時間以上一時退出した車両は平日約7%、休日約4%と少なく、休憩以外の目的で一時退出したと思われる車両も確認されたことから、令和4年7月1日(金)0時より、一時退出可能時間を現行の3時間から2時間へ変更。

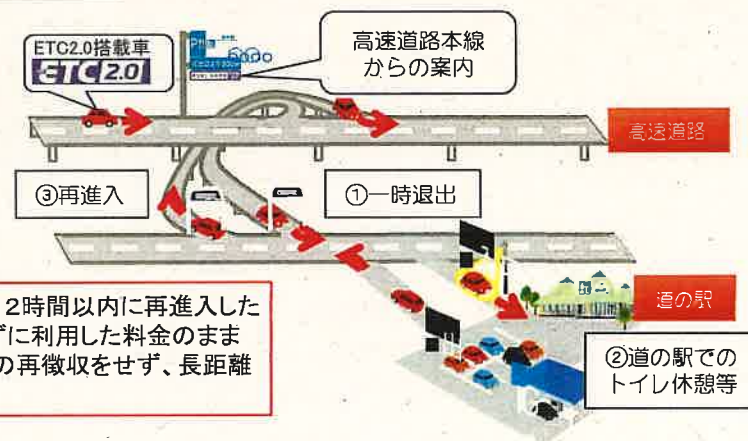
■ 一時退出時間別利用台数



■ 目的外利用イメージ図



■ 一時退出イメージ図



一時退出した場合でも、2時間以内に再進入した場合には、高速を降りずに利用した料金のまま(ターミナルチャージ※1の再徴収をせず、長距離運減※2等も継続)

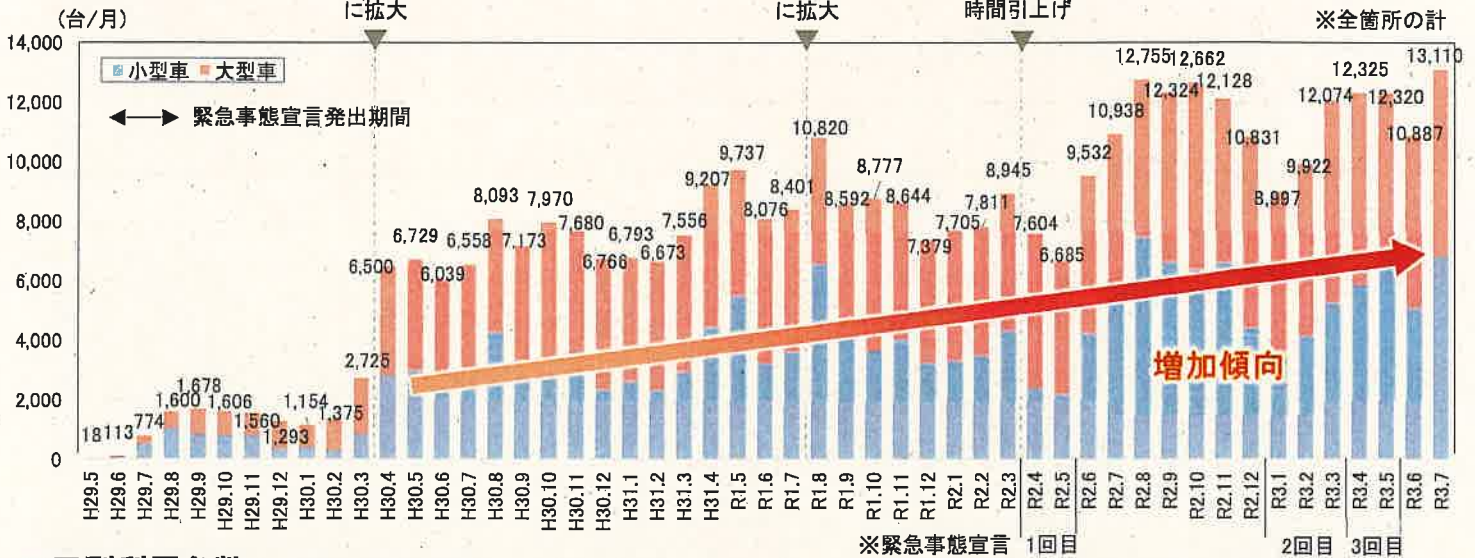
※1 利用1回当たりの料金
※2 一定距離以上を連続して利用した場合の料金割引措置

利用状況～利用台数の推移～

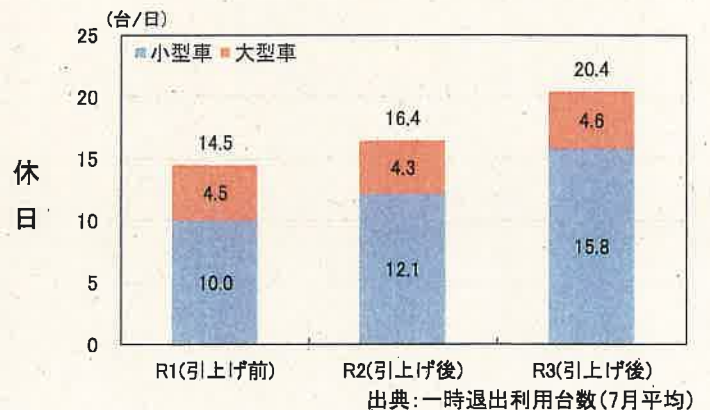
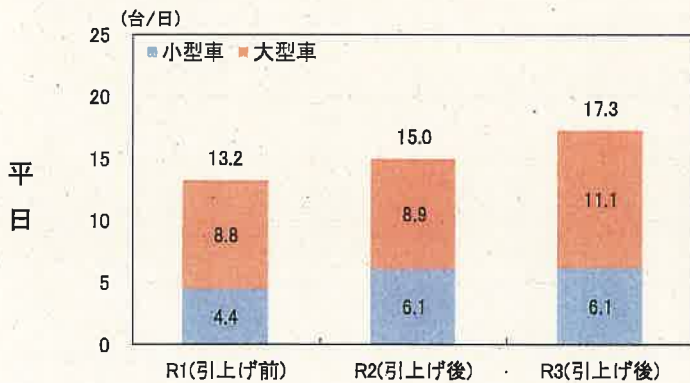
参考資料①

- 一時退出可能時間の引上げ後、新型コロナウイルス感染拡大に対する緊急事態宣言時の一時的な利用台数の減少を除き、利用台数は増加傾向。
- 車種別の利用台数では、平日は大型車、休日は小型車が多い。
- 一時退出可能時間の引上げに伴い、実験の目的である休憩機会の確保ではなく、休憩以外の目的で一時退出したと思われる車両※が確認された。
※道の駅では短時間しか滞在せず、道の駅以外の施設付近で長時間滞在。

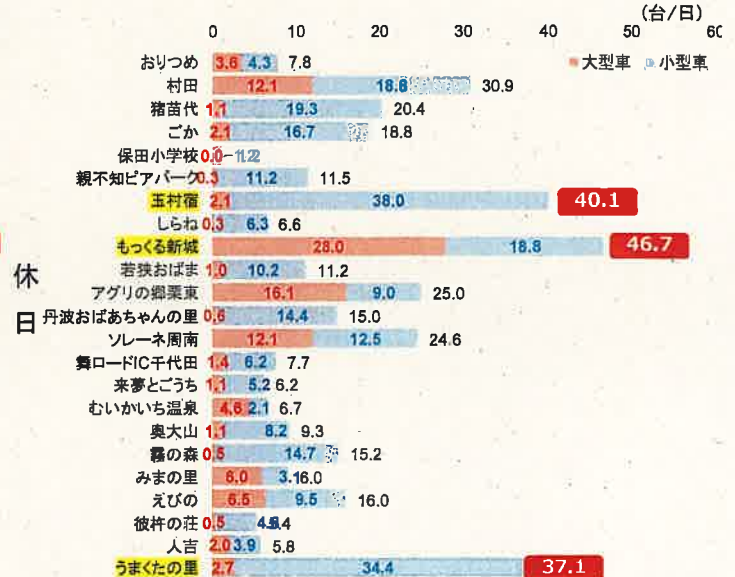
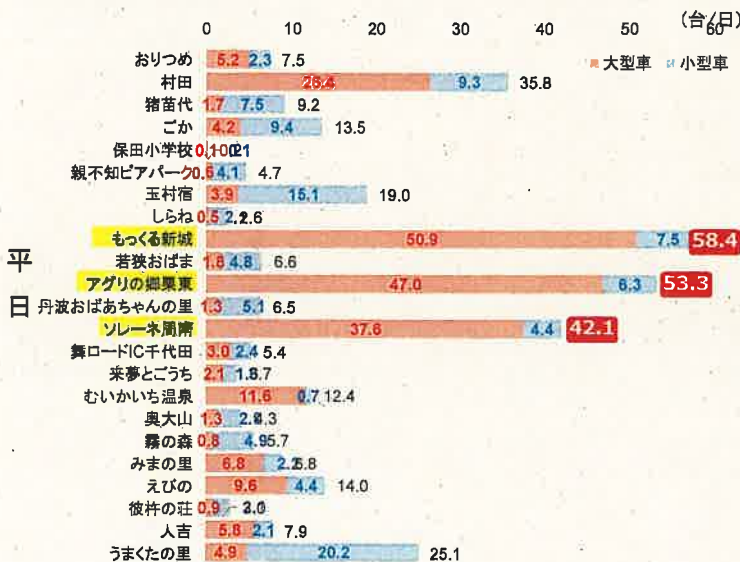
■月利用台数



■日別利用台数 ※各年の7月平均



■施設別利用台数 ※一時退出可能時間引き上げ後の4ヶ月平均

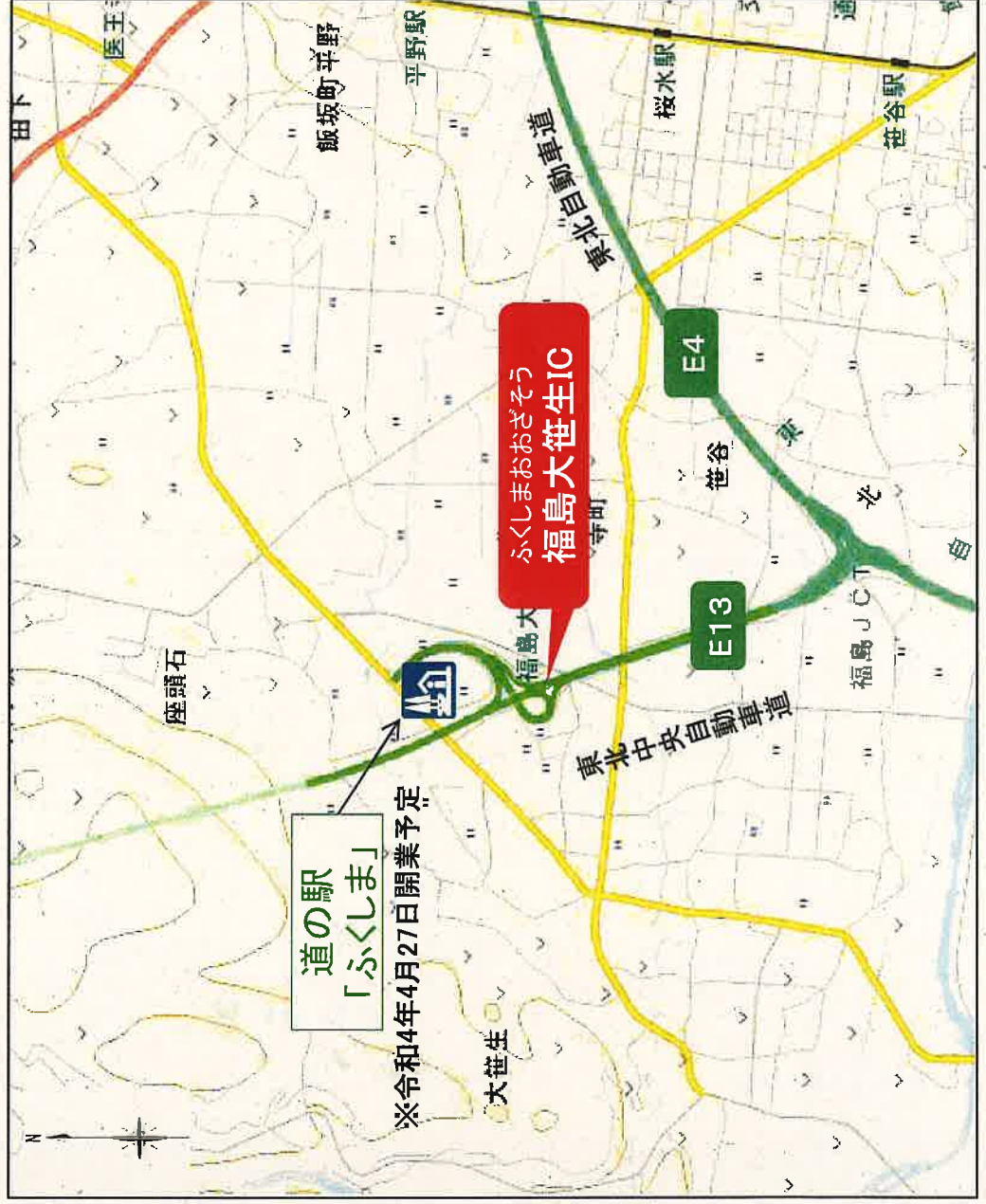


出典：一時退出利用台数(退出可能時間引上げ後のR2.3.27～R3.7.31平均)

実験試行箇所(道の駅「ふくしま」～福島大笹生IC～)

- 実験箇所 : 道の駅「ふくしま」
- 道の駅所在地 : 福島県 福島市
- 最寄道路名、IC名 : E13 東北中央自動車道 福島大笹生IC
- ICから道の駅の距離 : 2.0km

ふくまおおぞう



実験試行箇所(道の駅「おけがわ(仮称)」～桶川北本IC～)

- 実験箇所 : 道の駅「おけがわ(仮称)」
- 道の駅所在地 : 埼玉県 桶川市
- 最寄道路名、IC名 : C4 首都圏中央連絡自動車道 桶川北本IC
- ICから道の駅の距離 : 1.0km

おけがわきたもと



実験試行箇所(道の駅「常総(仮称)」～常総IC～)

- 実験箇所 : 道の駅「常総(仮称)」
- 道の駅所在地 : 茨城県 常総市
- 最寄道路名、IC名 : C4 首都圏中央連絡自動車道 常総IC
- ICから道の駅の距離 : 0.8km



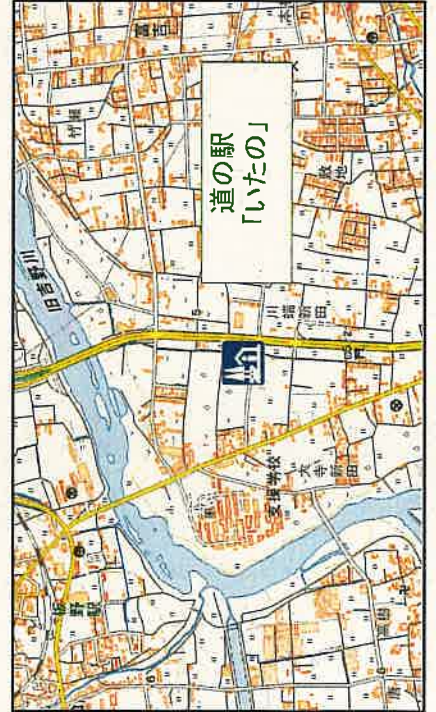
実験試行箇所(道の駅「ながおか花火館」～長岡IC～)

- 実験箇所 : 道の駅「ながおか花火館」
- 道の駅所在地 : 新潟県 長岡市 ながおか
- 最寄道路名、IC名 : E17 関越自動車道 長岡IC
- ICから道の駅の距離 : 1.7km



実験試行箇所(道の駅「いたの」～板野IC～)

- 実験箇所 : 道の駅「いたの」
- 道の駅所在地 : 徳島県 板野郡 板野町 いたの
- 最寄道路名、IC名 : E11 高松自動車道 板野IC
- ICから道の駅の距離 : 1.8km



実験試行箇所(道の駅「都城」～都城IC～)

- 実験箇所 : 道の駅「都城」
- 道の駅所在地 : 宮崎県 都城市 みやこのじょう
- 最寄道路名、IC名 : E10 宮崎自動車道 都城IC
- ICから道の駅の距離 : 2.0km

